

# 品番 72799 デジタル塩分濃度計

## ■用途

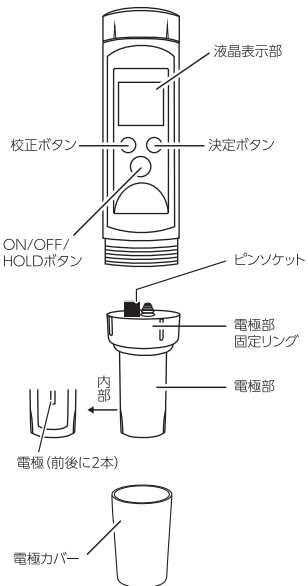
- 飲料水の検査、養殖場の水質管理に。
- 液体の塩分濃度管理に。

## ■特長

- コンパクトで携帯に便利です。
- ホールド機能付です。
- 自動温度補償(ATC)機能付です。
- 導電率測定機能付です。
- 液体温度測定機能付です。

- オートパワーオフ機能付です。
- 保護等級IPX5<sup>\*</sup>なので水に濡れても安心して使用できます。  
※いかなる方向からの噴流水によっても有害な影響を受けません。
- 収納ケース付です。

## ■各部の名称



## ■仕様

測定範囲	塩分濃度: 0~8.0%
	導電率: 0~200mS/cm <sup>*1</sup>
精度 <sup>*2</sup>	温度: 0~60℃
	塩分濃度: ±0.2%
	導電率 0~1999μS/cm <sup>*1</sup> : ±20μS/cm
	2~200mS/cm: ±2mS/cm
自動温度補償 (ATC)	温度: ±1℃
自動温度補償 (ATC)	あり
最小表示 (分解能)	塩分濃度: 0.1%
防水性能	導電率: 1μS/cm
	温度: 0.1℃
電源	IPX5 <sup>*3</sup>
オートパワーオフ	単4乾電池 2本 (付属の電池はモニター用の為、寿命が短い場合があります。)
材質	無操作状態で約8分後
本体サイズ	本体、電極部: ABS樹脂
製品質量	電極: ステンレス
	本体サイズ φ40×185mm
	製品質量 115g(電池含)

<sup>\*1</sup> 測定単位は1999μS/cmを超えるとき自動的にmS/cmに切り替わります。  
<sup>\*2</sup> 標準液にて校正後、同標準液を測定した時の再現性を示します。  
<sup>\*3</sup> いかなる方向からの噴流水によっても有害な影響を受けません。

## ⚠ 注意

- 用途以外には使用しないでください。
- 本製品をぶつけたり、落としたり、乱暴な取り扱いをしないでください。
- 高温の場所で使用、保管をしないでください。
- 本体内部に鉄粉、ごみ、ほこり、水などが入らないようご注意ください。
- 本製品は絶対に分解しないでください。
- お子様の手の届かない所に保管してください。
- 純水、油分が多い液体、粘性の高い液体には使用できません。
- 本体が汚れた場合は水や中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
- 長期間使用しない場合は必ず電池を抜いて保管してください。
- 弊社は、本製品に関連して生じたお客様および第三者の結果的損害、付随的損害、逸失利益などの間接損害について、それらの予見または予見可能性の有無にかかわらず一切の責任を負いません。ただし、弊社に故意または重大過失が存する場合またはお客様が消費者契約法上の消費者に該当する場合は、この限りではありません。本製品の使用に関し弊社が損害賠償責任を負う場合、本製品の代金相当額を限度額として賠償責任を負うものとします。

## ■電池交換

- ① 電極カバーを外します。
- ② 電極部固定リングを下図の方向に回して緩め、電極部を引っ張って外します。
- ③ 古い電池を取り出して新しい単4乾電池を2本用意し、+と-の向きを間違えないように差し込みます。
- ④ 電極部のピンソケットと本体のピンヘッドの位置に注意して、電極部を差し込みます。
- ⑤ Oリングが外れていないことを確認しながら逆の手順で電極部を固定します。

## ■ご使用の前に

「■電池交換」を参照して電池を装着してから操作してください。

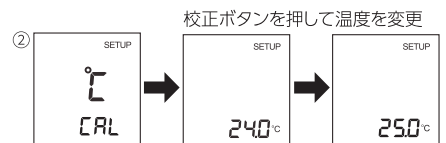
## ■セットアップ

セットアップは校正点数を変更(1点、2点、3点校正のいずれか)する場合は温度を校正する場合に行ってください。  
 ※初期設定は1点校正です。

- ① 塩分濃度測定モード(液晶上に%が表示)または導電率測定モード(液晶上にμSが表示)の状態では校正ボタンを長押しすると「SET UP」表示と「1 CAL」(初期状態の場合)が表示されます。すでに2点か3点校正の設定をしている場合は、「2 CAL」または「3 CAL」と表示されます。校正ボタンを押し、「1 CAL」、「2 CAL」、「3 CAL」のいずれかを選び決定ボタンを押してください。



- ② 続いて「℃」が表示されます。表示温度と実際の温度が異なる場合は温度を校正してください。温度校正が不要な場合は決定ボタンを押してください。温度校正は校正ボタンを押して実際の測定対象の液温に合わせて変更し決定ボタンを押します。実際の液温は別途温度計をご用意の上測定してください。※小数点以下の温度設定はできません。



- ③ 続いて「NO」と表示されます。①と②の設定で問題なければそのまま決定ボタンを押してください。①と②の設定をやり直したい場合は校正ボタンを押して「YES」と表示させ、決定ボタンを押すと初期状態に戻り「1 CAL」、「25.0℃」と表示されるので、もう一度やり直してください。



## ■校正

ご使用の際は下記の手順で校正を行ってください。

本製品は1点、2点、3点校正ができます。  
 1点校正でも十分に測定は可能ですが、より精度の高い測定をする場合は「■セットアップ」で設定を変更し、2点または3点校正を行ってください。

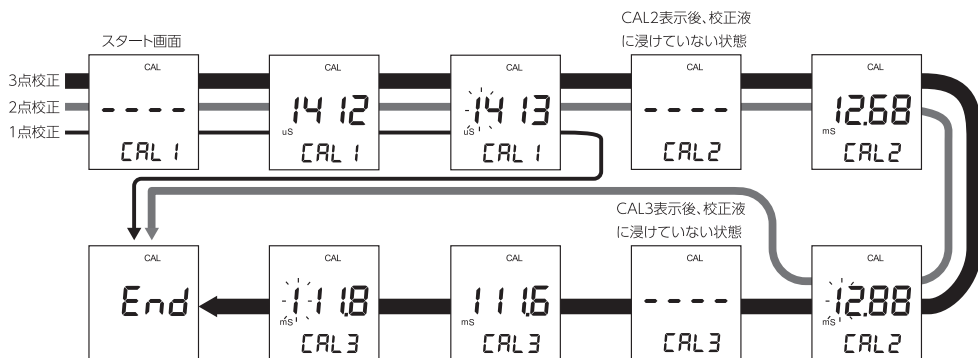
- 1点校正は1413μS/cm
- 2点校正は1413μS/cm、12.88mS/cm
- 3点校正は1413μS/cm、12.88mS/cm、111.8mS/cmの標準液で校正ができます。

※本製品に標準液は付属しておりません。弊社の標準液 導電率校正用(品番73035)か市販の標準液をご用意ください。  
 なお、弊社の標準液は1413μS/cmのみです。

- ①ON/OFF/HOLDボタンを押して電源を入れます。
- ②電極を水道水ですすぎ、さらにこれから校正する標準液ですいでください。
- ③校正ボタンを押し、下図スタート画面を表示させます。
- ④電極を標準液に浸すと4桁の数値が表示されます。
- ⑤決定ボタンを押すと数値の一番左の桁が点灯します。
- ⑥校正ボタンで数字を標準液の数値に合わせ決定ボタンを押すと、点滅が右へ1桁移動するので続けて設定し、最後の桁を設定し決定ボタンを押します。その後標準液を感知する間待ちます。
- ⑦「END」の表示が出ると設定が完了し、自動的に「MEAS」と表示され測定モードに戻ります。

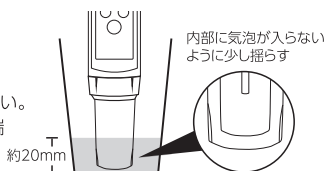
- 1点校正 1413 $\mu$ S/cmの標準液で①～⑦を行う。
- 2点校正 1413 $\mu$ S/cmの標準液で①～⑥を行う。→「CAL2」と表示される。→12.88mS/cmの標準液で②～⑦を行う。
- 3点校正 1413 $\mu$ S/cmの標準液で①～⑥を行う。→「CAL2」と表示される。→12.88mS/cmの標準液で②～⑥を行う。→「CAL3」と表示される。→111.8mS/cmの標準液で②～⑦を行う。

※1点、2点、3点校正のいずれかの設定は「■セットアップ」を参照してください。



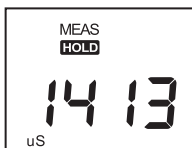
## ■使用方法

- 初回または長期間空けてからご使用になる場合は、校正してからご使用ください。校正方法は「■校正」を参照してください。
- 測定の際は、電極が完全に浸かるように先端から約20mm程液体に浸けてください。
- 液体に浸ける際、電極付近に気泡が出来ることがあるので気泡が抜けるように先端を軽く揺らしてください。



### ●塩分濃度測定モード

- ①ON/OFF/HOLDボタンを押して電源を入れ「MEAS」と「%」が表示されていることを確認します（「MEAS」は測定モード時に表示されます）。もし「 $\mu$ S」と表示されている場合は決定ボタンを押して「 $\mu$ S」を「%」に切り替えます。
- ②測定部を測定対象の液体に浸け数値を読み取ります。数値を固定したい場合は、ON/OFF/HOLDボタンを押すと「**HOLD**」と表示され測定値を固定することができます（ホールド機能）。もう一度ON/OFF/HOLDボタンを押すと「**HOLD**」の表示が消え、固定は解除されます。
- ③電源を切る場合はON/OFF/HOLDボタンを長押ししてください。



### ●導電率測定モード

- ①ON/OFF/HOLDボタンを押して電源を入れ、決定ボタンを押し「MEAS」と「 $\mu$ S」が表示されていることを確認します（「MEAS」は測定モード時に表示されます）。もし「%」の場合は決定ボタンを押して「%」を「 $\mu$ S」に切り替えます。
- ②測定部を測定対象の液体に浸け数値を読み取ります。\* 数値を固定したい場合は、ON/OFF/HOLDボタンを押すと「**HOLD**」と表示され測定値を固定することができます（ホールド機能）。もう一度ON/OFF/HOLDボタンを押すと「**HOLD**」の表示が消え、固定は解除されます。
- ③電源を切る場合はON/OFF/HOLDボタンを長押ししてください。\* 測定部が液体に浸かっていないと1 $\mu$ S/cm以下の数値が表示される場合がありますが故障ではありません。

## ■液体温度測定機能

0～60℃までの液体の温度測定ができます。表示温度が実際の測定温度と異なる場合は「■セットアップ」を参照して設定してください。

## ■自動温度補償(ATC)機能

測定する液温の温度変化による測定値の変化を補償する機能です。ATCはAutomatic Temperature Compensationの略です。

## ■保管方法

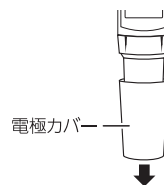
- ①電極を流水で洗います。
- ②電極を乾燥させて電極カバーを取り付けます。
- ③収納ケースに入れて保管します。

下記に当てはまる場合、「品番:73110 品名:交換電極 デジタル塩分濃度計用」をご購入の上、電極の交換を推奨しております。

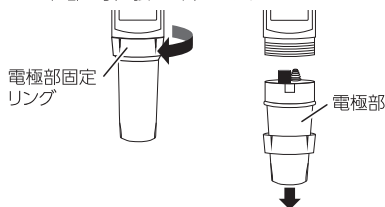
- ①標準液を使用しても校正できない場合。
- ②標準液を使用しても正しい数値が出ない場合。
- ③測定値が安定しない、時間が掛かる場合。

## ■電極交換方法

- ①電極カバーを外します。



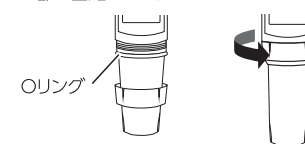
- ②電極部固定リングを下図の方向に回して緩め、電極部を引っ張って外します。



- ③新しい電極部のピンソケットと本体のピンヘッドの位置に注意して、電極部を差し込みます。



- ④Oリングが外れていないことを確認しながら逆の手順で電極部を固定します。



## ■トラブルシューティング

トラブル	原因	対策
使用時に ---表示が出る	通電していない	水に浸けて通電させる
校正時に Err表示が出る	校正液に浸けていない	校正液にしっかりと電極を浸ける
	選択した数値と校正基準値が異なっている	校正基準値と設定値が合っているか確認する
	校正液の変性などで正確に校正できない	新しい校正液で再度確認する

2023/9/1現在